

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 1 区分
 【発行日】平成 23 年 7 月 28 日 (2011.7.28)

【公表番号】特表 2010-528860 (P2010-528860A)
 【公表日】平成 22 年 8 月 26 日 (2010.8.26)
 【年通号数】公開・登録公報 2010-034
 【出願番号】特願 2010-512305 (P2010-512305)
 【国際特許分類】

B 0 5 B 15/04 (2006.01)

B 0 5 D 1/32 (2006.01)

【F I】

B 0 5 B 15/04 1 0 2

B 0 5 D 1/32 B

【手続補正書】
 【提出日】平成 23 年 6 月 9 日 (2011.6.9)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

被塗装面をマスキングするために、取り外し可能に車両に取り付けることができる細長いマスキング物品であって、

前記マスキング物品はポリマー発泡体から形成され、前記ポリマー発泡体は前記マスキング物品の外面に又は前記マスキング物品の少なくとも長さ方向に延びる部分にインテグラルスキンを含み、

被塗装面をマスキングするために前記マスキング物品が車両に取り付けられるとき、前記マスキング物品上の前記インテグラルスキンの位置は、前記インテグラルスキンの少なくとも一部が、塗料の塗布される方向に対して、概ね対面するようになっているとともに、前記インテグラルスキンの前記一部が配置されている前記マスキング物品の前記外面の部分が湾曲している、マスキング物品。

【請求項 2】

前記マスキング物品は、前記マスキング物品の長さに沿って延びる少なくとも 1 つの溶着シームによって維持される、湾曲した外面を含む、請求項 1 に記載のマスキング物品。

【請求項 3】

長さ方向に延びる一対の溶着シームを、前記マスキング物品の互いに反対側に有し、前記インテグラルスキンが、前記マスキング物品の少なくとも一部において前記溶着シームの間に延びる、請求項 2 に記載のマスキング物品。

【請求項 4】

向かい合わせで配置されるポリマー発泡体の 2 つの層を含み、前記 2 つの層は前記溶着シームにより前記 2 つの層の縁部に沿って互いに接合されている、請求項 3 に記載のマスキング物品。

【請求項 5】

請求項 3 に記載のマスキング物品を製造する方法であって、

ウェブの主要な面のうち少なくとも 1 つの面にわたってインテグラルスキンを有するポリマー発泡体のウェブを提供する工程と、前記ポリマー発泡体を、一対の平行な線に沿って圧縮及び溶着して前記湾曲した外面を形成する工程と、を含む、マスキング物品を製造

する方法。